

第 30 回応用地域学会研究発表大会併設企画
「神戸未来戦略を考える公開シンポジウム」の開催について

経済経営研究所 教授 浜口伸明

078-803-7011 : hamaguchi@rieb.kobe-u.ac.jp

工学研究科 教授 小池淳司

078-803-6208 : koike@lion.kobe-u.ac.jp

応用地域学会（ARSC）は理論的、政策志向的立場に基づいて地域科学の学際的研究を行うことを目的とし、政治的、社会的、財政的、あるいは国際的偏向を排した客観的かつ科学的活動に従事することを旨とする学会です。本学の経営学、経済学、工学などの複数の研究科の教員が共同で研究を実施し、新しい学術領域の形成と新知識の持続的創出を実現している文理融合型研究のための学会です。その第 30 回の研究発表大会を 2016 年 11 月 26 日～27 日に本学工学研究科を会場として開催し、これを機に本学では機能強化プロジェクト「未来世紀都市」の活動の一環として、本学会と共同で、公開シンポジウム「神戸未来戦略を考える公開シンポジウム」を企画しました。このシンポジウムは学会員だけではなく、広く地域市民・産業界に公開します。

産学官連携が当たり前の現状において様々な取り組みが自治体と大学で行われていますが、技術開発や短期的な連携プロジェクトが多いのが実際です。また、地域の経済活性化や住民の生活環境向上につながった取り組みは少ないのが現状です。神戸市と本学は 2013 年に包括連携協定を締結し、組織対組織での戦略立案ステージからの連携体制の構築を目指しています。本シンポジウムの講演の部での神戸大学が考える地域未来戦略を小川真人研究・産学連携担当理事が発表し、神戸市から神戸市が掲げる「神戸 2020 ビジョン」に基づいて議論を深めていく建てつけになっています。このように、今回のシンポジウムでは自治体と大学、そして教員・学生、市民が産学官連携で地域の未来を創る起点となり、本学の経営観点においても「地域戦略」を如何にして考えるかについて資するものになります。

「神戸未来戦略を考える公開シンポジウム」

日時：2016 年 11 月 27 日（土）

会場：神戸大学工学研究科 C-302

（講演の部）10：00-11：50

コーディネーター 浜口伸明（神戸大学）

- ・神戸未来戦略と神戸大学 報告者 小川真人（神戸大学）
- ・医療・健康・市民のコミュニケーション 報告者 小泉周（自然科学研究機構）
- ・イノベーションを生み出す地域の産業関連 報告者 中村良平（岡山大学）

（パネルディスカッションの部）13：00-15：00

コーディネーター 浜口伸明（神戸大学）

パネリスト 稲松敏彦（神戸市役所）、小川真人（神戸大学）、
小泉周（自然科学研究機構）、中村良平（岡山大学）